

## 祝 辞

本日、ここ海上自衛隊 第1術科学校 大講堂において、第73期 飛行幹部候補生課程の入校式が、厳粛に挙行されるに当たり、地元、江田島市民を代表して、お祝いの御挨拶を申し上げます。

飛行幹部候補生課程に入校される皆様、本日は誠におめでとうございます。皆様をお迎えすることは、地元江田島市として、大きな喜びであり、心から歓迎を申し上げます。

皆様は常時、大変な緊張感のもと海洋哨戒活動などを実施され、我が国の主権と平和の維持に貢献していただいております。心から感謝申し上げます。

さて、昨今、近隣諸国の挑発的な行動が常態化し、我が国を取り巻く国際情勢は、緊張感を増しております。また、この7月の九州南部豪雨のように、災害派遣も増えつつあり、今後、ますます、自衛官の皆様の果たす役割は大きなものとなります。

中でも、航空部隊の皆様が、日本国の主権をおびやかす諸国の航空機や艦艇に対して、常時、冷静に海洋哨戒を実施され、我が国の平和維持に貢献していただいておりますことは、とてもありがたく、感謝いたしております。

これからの航空部隊の中心的な役割を担う皆様は、ここ江田島の地で、6か月間、飛行幹部として、必要な知識や技能を習得する、厳しい教育を受けることとなります。

本日入校される仲間と助け合い、励まし合いながら、充実した学生生活を過ごしていただき、ここを旅立つ日には、飛行幹部として、しっかりと国民の負託にこたえられる人材になれることを期待しております。

江田島市は、気候温暖な瀬戸内海に浮かび、四季折々の美しい景観を自慢とする、自然に囲まれた風光明媚な島のまちであります。

海の幸、山の幸にも恵まれ、これから冬にかけて旬を迎える、全国トップクラスの生産量を誇る牡蠣、島特有の傾斜地を活用して丁寧に栽培された柑橘など、瀬戸内の味覚ともいふべき特産品を、気軽に楽しむことができます。

また、皆様御承知のとおり、ここ江田島は、明治21年、今から132年前に、海軍兵学校が東京築地から移転し、その後昭和31年に海上自衛隊をお迎えしてから現在に至る64年間、海上自衛隊と江田島市は、共存共栄・一体不可分の関係で発展しており、自衛隊の皆様との縁や絆を大切にしてきた地であります。

ぜひ、厳しい訓練の合間には、こうした島の美しい風景や、島の味覚、島の人情に触れていただき、江田島市との「縁」を紡ぎながら、思い出深い場所として、心に刻んでいただければ幸いです。

結びになります。日本国の繁栄、海上自衛隊の益々の御隆盛、御発展、そして御入校される皆様、御臨席の全ての皆様の、御健勝と更なる御活躍を、心よりお祈り申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和2年9月4日

江田島市長 あき おか しゅう さく  
明 岳 周 作